

「都市のDX」により、都市空間と人々のライフスタイルの未来を切り拓く
都市のデジタルプラットフォーム「ヒルズネットワーク」を開発
 ～“ヒルズ”を舞台に、より便利で、より豊かな都市生活・顧客体験を提供～

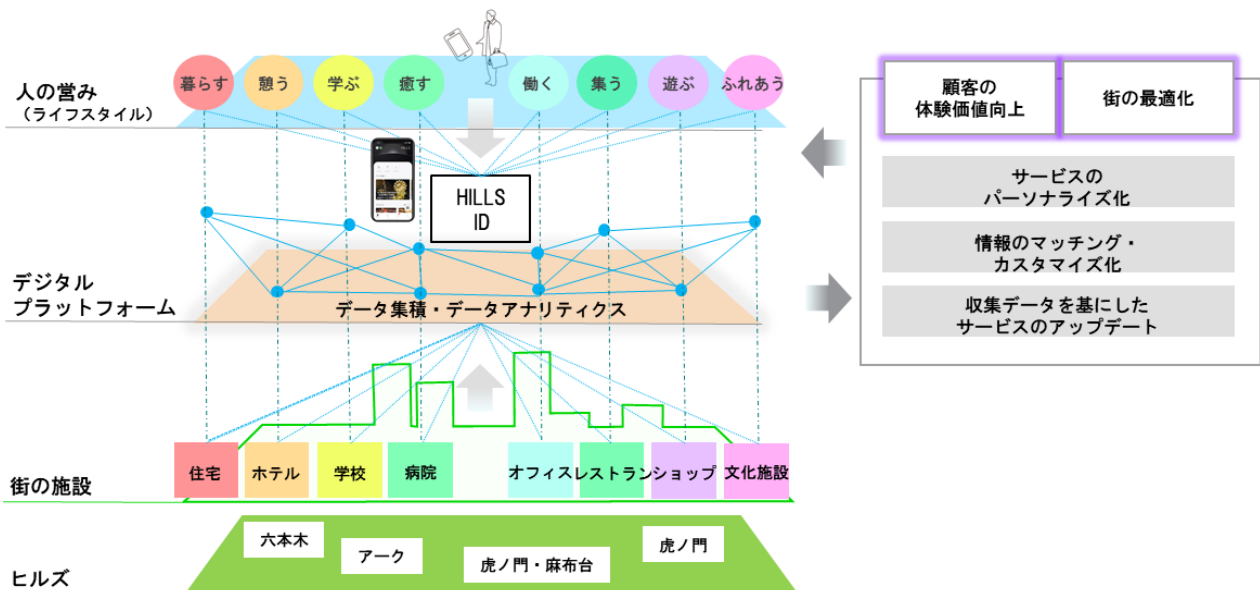
森ビル株式会社（東京都港区 代表取締役社長 辻慎吾）は、六本木ヒルズを始めとする「街（ヒルズ）」を舞台に、都市のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を通じて、より便利で、より豊かな都市生活・顧客体験を実現すべく、都市のデジタルプラットフォーム（都市OS）となる「ヒルズネットワーク」を開発しました。“ヒルズ”を利用する居住者・ワーカー・来街者などを対象として、4月5日より順次サービスを開始いたします。

森ビルは1986年のアークヒルズ以降、多様な都市機能が高度に集積したコンパクトシティの創出を通じて、シームレスで豊かな都市生活（ヒルズライフ）を提案してまいりました。また、2003年の六本木ヒルズ以降は、タウンマネジメントの手法により、街に住み、働き、訪れる人々と共に、街と人々を繋げ、街のコミュニティを育ててまいりました。この度スタートする「ヒルズネットワーク」は、デジタルプラットフォームでそれらのヒルズを繋ぎ、当社が長年にわたって取り組んできた、より便利で、より豊かな都市生活・顧客体験の提供を加速させるものです。

「ヒルズネットワーク」のサービス開始にあたり、様々な街の利用者に対して、「ヒルズID」と「ヒルズアプリ」を提供します。これにより、街の利用者は、六本木ヒルズ、表参道ヒルズ、アークヒルズなど、当社が管理・運営する複数の“ヒルズ”における様々なサービスをオンライン上で完結させることが可能となるほか、利用者の属性、街・施設の利用履歴、位置情報などのデータに基づいて、利用者一人ひとりに最適化された「街（ヒルズ）」の情報を受け取ることが可能となります。

また、現在推進中の「虎ノ門・麻布台プロジェクト」や「虎ノ門ヒルズエリア」においては、「ヒルズネットワーク」によって統合された施設・サービスと利用者のデータ基盤をベースとし、様々な最先端技術を実装することで、街全体がワークプレイスとなり、街全体がリビングスペースとなるような、従来以上にシームレスな都市生活（ヒルズライフ）の実現を目指します。さらに、六本木ヒルズ、アークヒルズ、「虎ノ門・麻布台プロジェクト」「虎ノ門ヒルズエリア」などの“ヒルズ”を連携・融合させ、都心部エリア全体をシームレスに繋げることで、新たな文化・経済圏を創出します。

「ヒルズネットワーク(都市OS)」のイメージ



森ビルは引き続き、都市とライフスタイルの未来を模索しながら、国際都市・東京のさらなる磁力向上に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

森ビル株式会社 広報室 落合

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

今後のスケジュールについて

ヒルズアプリの利用者や街から得られる様々な情報を活用しながら、順次、アプリの機能改修を進めるとともに、2023年に完成する「虎ノ門・麻布台プロジェクト」と「虎ノ門ヒルズエリア」に向けて、ヒルズネットワークを活用したサービスを街に実装するための具体的な検討を進めてまいります。



※参考 ヒルズアプリについて

「ヒルズアプリ」の機能



ヒルズアプリ導入による利便性の向上 (例)

施設情報(イベント・店舗情報等)の閲覧

(Before)

- ・各施設の WEB サイトや紙媒体で閲覧

(after)

- ・森ビル施設横断での店舗検索・情報閲覧
- ・利用者の属性に合わせた情報表示
- ・位置情報により付近の施設情報を優先表示

お知らせの通知

(Before)

- ・電子メールやダイレクトメール、各 WEB サイト上のマイページでの配信

(after)

- ・街からのお知らせが、アプリで受信可能
- ・居住者は宅配やランドリーの通知も受信可能

ヒルズポイントの付与/利用

(Before)

- ・ヒルズカードを提示してポイントを貯める
- ・ポイント利用には交換機が必要
- ・1000ポイントから交換可能

(after)

- ・アプリ上でポイントを付与
- ・アプリ上から直接ポイントを利用
- ・100ポイントから利用可能

森美術館の予約・入場

(Before)

- ・WEB サイトやカウンターでチケットを購入し、入場時に紙のチケットを提示

(after)

- ・アプリ上でチケット購入、入場 QR コード表示が可能

※以下、2021 年夏以降に機能拡張予定

イベントへの申し込み

(Before)

- ・各イベントの WEB サイトから申し込み

(after)

- ・アプリ上で申し込み、決済、入場 QR コード表示が可能

レストランの予約

(Before)

- ・各店舗のサイトやグルメサイトを利用しての予約が必要

(after)

- ・アプリ上でお店を検索、直接予約が可能
- ・属性に応じた優待サービスの有無も確認可能